

右京区役所 ☎861-1101 (代表)
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
<http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/>

**区役所ホームページ、Facebook
常時更新中!**
「区長の部屋」も
ぜひのぞいてみてね!



右京区役所 検索



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎ 661-3755、FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから)
パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

平成24年度新・右京区まちづくり 支援制度支援事業活動中

■太秦時代劇映画作りを職人が右京区民に伝承する(元氣あふれる映像コミュニケーション・セッション塾(時代劇復興委員会))

これまで9回の講座を開催。8月に行った撮影・照明講座では、実際に嵐山の観光コマーションャルと時代劇を制作。10月には、小学生も参加し電柱がない嵯峨野の時代劇ロケ地巡りを実施。1月の嵐山の美空ひばり座での合同発表会では、世界レベルのチャンバラや映画作りを観光客や子ども達に伝承しました。今後も、かつて「日本のハリウッド」と呼ばれた太秦のある右京区らしいまちづくり活動を展開してくれることを期待しています。



■地域コミュニティ活性化事業(山ノ内社会福祉協議会)
毎月第1日曜日に山ノ内社会福祉会館で、第3日曜日は小学校のふれあいサロンで、午前9時～11時の間、100円でトースト、コーヒー、ゆで卵、バナナ半分を提供するコミュニティカフェを実施。今年度は、社会福祉会館のバリアフリーを実現しました。アンケート分析やスタッフのアイデアを活かしながらこれまで15回実施し、平均60人が参加。世代を超えた地域の人が集まる居場所となっています。

■観光客への情報提供のツールとして、主に家族連れが訪れやすい食事処の情報を提供するアプリを開発することを目的に活動中。現在、嵐電沿線の商店街や個店を23軒調査。「取材を快く受けてくださり、突然の訪問にも温かく対応してもらい、学生に優しいまちだな」と実感。「現地調査は大変だけど、ガイドブックには載っていないような隠れた名店や、家族で入りやすいお店を載せ、僕たちのアプリを使ってお店に行ってもらえれば嬉しい」と話します。アプリの枠組みはほぼ完成! 3月下旬の完成に向けてラストスパートです。



カフェの様子

■嵐山への観光客の途中下車を促進する「Pirone」アプリの開発(花園大学itakex)

■地域活性化に向けた元黒田小学校活用事業(黒田自治会黒田小学校活用委員会)
黒田地区は京北地域の北東部に位置し、人口の減少や少子高齢化が切実な問題となっています。こうした中、廃校

地域住民同士の絆や信頼が生まれるスマイルモーニングに参加してみませんか。

となった、元京北町立黒田小学校の1階部分を活用し、地域づくりの拠点にできないかとの機運が高まり、昨年4月に自治会が中心となり活用検討委員会を立ち上げ、今後10年間のまちづくりのランドデザインとなる「新黒田村構想」を策定しました。昨年12月から「小さくても輝く地域黒田」の実現に向けて行動が始められ、2月2日には、人と人とのつながり、ネットワーキングを目的とする第一回の「黒田村サロン」を開催。林業女子の会の皆様や山



2月2日の黒田村サロンの様子

間部の活性化に関心のある大学生が交流しました。3月くらいよいよ、黒田小学校をお借りして、拠点づくりのワークショップも始まる予定です。

うれしいニュース

■地域の方々温かく迎えられる京北地域に定住を決意!

6人家族で子育て真っ最中の池田さん。この度、駐在さんとして平成20年から勤務する京北へ定住されました。

子どもたちの声がかまされ、若い力で地域が活性化する池田さん一家の定住を、地域の方々も温かく迎えています。

■ズバリ! 定住を決意した理由は何か?
地域の「人」です。みんなが顔の見える関係で、御近所同士の付き合いも深くとても温かい。子どもが悪いことをしていたら、周りの大人が叱ってくれる。自分たちの地域や子どもを守ろうとする意識が強く、まさに古き良き日本の姿を実感しています。

人なつっこく、いつもしっかり挨拶する子どもの姿を見て、自分の子どもたちもこのように、いきいきと育ててほしい、と思うようになった。みんなが

顔をみて挨拶し合うのは、防犯にとっても効果があるんですよ。
■京北で子育てすることにどう思いますか?
お母さんたちの強いネットワークや行事でたくましく活動するお父さんたち、我々の面倒を見てくれる親世代がとて頼りになる存在です。自分たちだけだと子どもを何人も育てるのは大変だけど、この地域では助け合いながら、安心して子育てができます。
これからも地域の皆さんに支えていただきながら、この地で子育てをしていきたい、この先の任を離れても自分の知識や経験を地域の安心と安全に活かしていきたいと思っています。



京都府右京警察署 山国駐在所 駐在所の前で(池田夫妻)

発見! 自治会・町内会のス・テ・キ⑧

自治会活動45年! 後継者を育成してこの温かい地域を守っていききたい
御室学区北五反田町

自治会活動45年! 後継者を育成してこの温かい地域を守っていききたい
御室学区北五反田町
御室学区自治連合会の廣田副会長は、頑張っている先輩の姿を見て、自分も御室の役に立ちたいと思い、30代前半で自治会活動デビュー。その後、体育振興会長や自治連合会長を務めながら、北五反田町内会長を25年間兼務し、右京区社会福祉協議会の理事を務めるなどバリバリの現役。

32世帯のうち9割以上が加入し、下宿する大学生が多いという特徴を持つ町内会の活動についてお話を伺いました。
■どんな町内会の活動をされていますか
主な活動としては、月1回の古紙回収、地藏盆、学区の運動会、住吉神社のお祭りへの参加などです。
古紙回収は、子育て世代からお年寄りまで、幅広い世代が喜んでくれます。京都市からの助成金(コミュニティ回収制度)を活用していて、とても助かっています。会長自らが市民しんぶんなどを活用して十分に情報収集することで町内の予算をうまく運営することができていると思います。

また、学区を挙げて月1回土曜公園の清掃をしています。年配の女性や、少年野球の母親たちが担当を決めて参加してくれているので、毎回10名強が集まります。自主的に公園を清掃する人も何人か現れて、周辺の地域からは「公園がきれいになった」と喜ばれています。保育園の散歩コース、小・中学生の遊ぶ場として活躍している御室学区の公園を、地域のみんで守って

いきたいと思います。
■どんな町内会ですか
町内のみで良くて、親子も同士の仲の良さに繋がっていると思います。顔をみたら挨拶をする昔ながらの温かい町内会です。古紙回収や、運動会、住吉神社のお祭りの時には学生も参加してくれますよ。もちろん、学生からは町内会費を徴収していませんが、町内行事の周知をしっかりとしています。

■今後の課題は何ですか
若手の育成です。例えば、3町内から約100名の子どもたちが集まる地藏盆の企画や会計などを若い世代3、4人に任せています。若い世代のフレッシュなアイデアでやってほしいということ、少しずつ任せていくことで、自然にやりがいや責任感を感じ、「自分たちがやっていかなあかん」と気づいてくれることを期待しています。気長に人材を育てて、今の温かい雰囲気を守っていききたいです。

■最後に一言!
私がかつて自治会活動に携わったのは、家族の理解、支えがあったからこそ。やりがいや健康につながるまで頑張りたいです。

地域の人の相談事を聞いて一緒に解決することも町内会長の大切な役割だと思っています。今後も、町内に親しまれる町内会長として、任んでよかったです。考える地域づくりに尽力していきたいです。



廣田耕造北五反田町内会長